

1. ビタミン B12 吸収障害をきたす状態について、正しいものを 2 つ選べ

- (1) 胃全摘後
- (2) 胆嚢摘出後
- (3) 膵尾部切除後
- (4) S 状結腸切除後
- (5) 回腸末端部切除後

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

2. 正しいものを 2 つ選べ

- (1) コレシストキニンは胆嚢を収縮させる作用を持つ
- (2) インクレチンはインスリン分泌を抑制する
- (3) ソマトスタチンは胃酸分泌を促進する
- (4) ガストリンはペプシン分泌を抑制する
- (5) セクレチンは膵酵素の分泌を促進する

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

3. がま腫について正しいのはどれか

- (1) 顎下腺に発生することが多い
- (2) 唾液腺腫瘍である
- (3) 唾液の軟組織内貯留により生じる
- (4) 口腔底部の片側に生じることが多い
- (5) 開窓療法は無効である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

4. 咬合不正（咬み合せの異常）を生じる骨折はどれか

- (1) 下顎骨体部骨折
- (2) 下顎骨関節突起骨折
- (3) 下顎骨筋突起骨折
- (4) 頬骨弓骨折
- (5) Le Fort I 型骨折

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

5. 口腔癌について正しいのはどれか

- (1) 放射線治療は有効ではない
- (2) 部位別では口唇に多い
- (3) 発現年齢では若年者に多い
- (4) 組織型では扁平上皮癌が多い
- (5) 遠隔転移部位では肺が多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

6. 歯性上顎洞炎について正しいのはどれか

- (a) 顎骨の破壊が著明である
- (b) 切歯が原因歯となることが多い
- (c) 左右同時に発症することが多い
- (d) 上顎洞の X 線透過性が亢進する
- (e) う歯や歯周炎が原因で生じる

7. 顎運動に関与しない筋はどれか

- (a) 咬筋
- (b) 側頭筋
- (c) 顎二腹筋
- (d) 顎舌骨筋
- (e) 頬筋

8. 大唾液腺に発生する唾石症について正しいのはどれか

- (a) 唾液腺造影で導管の断絶と狭窄がみられる
- (b) 唾石は舌下腺に多くみられる
- (c) 唾石の主成分は硝酸石灰である
- (d) 腺体内唾石は自然排出されやすい
- (e) 摂食時の唾液流出障害により唾疳痛を生じることがある

9. 50 歳男性。左側顎下部に鶏卵大の無痛性、弾性硬、可動性の腫瘤を触知した。唾液腺造影 CT 検査にて、顎下腺の半月状欠損像と後方圧排像が認められた。最も疑われる疾患はどれか。

- (a) 唾石症
- (b) 顎下型がま腫
- (c) 多形腺腫
- (d) リンパ管腫
- (e) Sjogren 症候群

10. 唇顎口蓋裂について正しいのはどれか

- (a) 唇裂は正中が最も多い
- (b) 唇裂の閉鎖は生後すぐ行う
- (c) 顎口蓋裂の閉鎖は生後すぐに行う
- (d) 哺乳指導が必要である
- (e) 不正咬合を伴うことは少ない

11. 嚥下機能について、正しい組み合わせはどれか

- (a) 口腔期 — 鼻咽腔閉鎖
- (b) 咽頭期 — 食塊の送り込み
- (c) 咽頭期 — 喉頭挙上
- (d) 食道期 — 咽頭収縮
- (e) 食道期 — 食道入口部弛緩

12. 咽頭癌について正しいのはどれか

- (1) ヒトパピローマウイルスは上咽頭癌の発生に関与している
- (2) Epstein-Barr virus は中咽頭癌の発生に関与している
- (3) 中咽頭癌の発がん因子として喫煙が 90%を占める
- (4) 下咽頭癌治療では、喉頭温存が問題となる
- (5) 下咽頭癌は、放射線感受性が高い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

13. 食道造影について正しいものはどれか

- (a) 頸部食道 (Ce) と胸部上部食道 (Ut) の境界は胸骨柄である
- (b) Ut と胸部中部食道 (Mt) の境界は大動脈起始部である
- (c) Mt と胸部下部食道 (Lt) の境界は Ut/Mt 境界から横隔膜までを 2 等分した部位である
- (d) 食道造影上、Mt と Lt の長さは異なる
- (e) 第 2 斜位では椎体と食道の重なりが少なく観察しやすい

14. 注腸造影検査所見と疾患の組合せとして正しいものはどれか

- | | | |
|-------------|---|----------------------|
| (1) 潰瘍性大腸炎 | — | collar button ulcers |
| (2) Crohn 病 | — | skip lesion |
| (3) 虚血性腸炎 | — | lead pipe appearance |
| (4) 進行大腸癌 | — | snake sign |
| (5) 腸重責 | — | thumb printing sign |

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

15. CTcolonography (大腸 CT) について正しいものはどれか

- (a) 特別な前処置を必要としない
- (b) 大腸の拡張に炭酸ガスを用いる
- (c) 被曝を低減のため、2 体位以上で撮像を行わない
- (d) 仮想内視鏡像の観察では粘膜の色調情報が重要である
- (e) 読影は容易である

16. 下記疾患の治療において化学放射線治療が有効なものはどれか

- (1) 肝臓癌
- (2) 胃癌
- (3) 食道癌
- (4) 膵臓癌
- (5) 結腸癌

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

17. 消化器癌の放射線治療について誤っているものはどれか

- (1) 肝細胞癌で門脈塞栓が存在する場合は放射線治療の適応はない

- (2) 進行食道癌に対する化学放射線治療の成績は外科治療と比較しかなり劣る
- (3) 肝細胞癌に対して陽子線治療の有効性が報告されている
- (4) 食道癌に対する放射線治療の有害事象に放射線肺臓炎がある
- (5) 膵癌に対する疼痛緩和照射は有効である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

18. 次の文章のうち誤っているものはどれか

- (1) 小児の腸重責が生じやすい部位は回盲部である
- (2) 腸重責の代表的な画像所見として、target sign や pseudokidney sign がある
- (3) Hirschsprung 病は壁内神経節細胞の欠如が原因で、腹部膨満や腸閉塞をきたす
- (4) 腸重責は学童期に多い
- (5) 中腸回転異常では 180° 回転型が最も多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

19. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- (1) 急性虫垂炎の病気とし、カタル期、蜂窩期、壊疽期がある
- (2) Crohn 病と潰瘍性大腸炎を比較すると、潰瘍性大腸炎の方が穿孔を生じやすい
- (3) Meckel 憩室には、Ga (ガリウム) ーシンチグラフィが行われる
- (4) 非閉塞性腸管虚血 (NOMI) の基礎疾患には、心房細動があることが多い
- (5) 大腿ヘルニアは外ヘルニアに分類される

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

20. 45 歳、男性。直腸後壁、歯状線口側 3cm に下縁を有する病変 (20×20mm) を認め、経肛門的に局所切除を施行した。
今後の治療として適切なものを選べ。

- (1) m 癌で断端陰性だったので、経過観察を行う
- (2) sm 癌 (高度浸潤 sm3) であったので、閉鎖リンパ節郭清を伴う直腸切除術を行う
- (3) sm 癌 (中等度以上の浸潤 sm2~3) で断端陽性であったので、局所的に再切除を行う
- (4) sm 癌 (中途度浸潤 sm2) であったので、自律神経温存直腸切除術を行う
- (5) sm 癌 (軽微な浸潤 sm1) であったので、経過観察を行う

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

21. 疾患と術後早期に起こりうる合併症の組み合わせとして適切なものを 2 つ選べ

- | | | |
|-------------|---|-------|
| (1) 食道癌 | — | 骨盤内膿瘍 |
| (2) 食道アカラシア | — | 嘔声 |
| (3) 胃癌 | — | 膵液ろう |
| (4) 直腸癌 | — | 勃起障害 |
| (5) 上行結腸癌 | — | 排尿障害 |

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

22. 大腸癌について正しい組合せはどれか

- (1) 早期下部直腸癌では、経肛門的、経括約筋的、経仙骨的腫瘍摘除術も適応となる
- (2) 直腸癌術後の局所再発は稀である
- (3) 進行直腸癌に対して放射線治療が行われることはない
- (4) 肝転移、肺転移の頻度は結腸癌と直腸癌との間に差が認められる
- (5) 結腸癌、直腸癌ともに CEA は有用な腫瘍マーカーである

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

23. 食道表在癌の治療法の選択で正しい組合せはどれか

- (1) m1 癌は EMR（内視鏡的粘膜切除術）の適応である
- (2) m2 癌には脈管侵襲が認められるため、根治手術の適応となる
- (3) sm 癌は早期癌のためリンパ節郭清は不要である
- (4) sm2・sm3 癌ではリンパ節転移の頻度が高いため、根治手術の適応となる

(a) 1,2 (b) 1,3 (c) 1,4 (d) 2,3 (e) 3,4

24. 食道癌の手術について正しいものはどれか

- (a) 肺転移を伴う進行食道癌はリンパ節郭清が無意味なので、食道抜去術が適応である
- (b) 左側に食道癌の中心部が存在する場合には、左開胸による食道切除術が適している
- (c) 胸部上部食道（Ut）の進行癌は、頸部のリンパ節にも転移しやすいので郭清が必要である
- (d) 後縦隔経路再建は縫合不全が少なく、高齢者に適している
- (e) 再建臓器としては小腸を用いることが多い

25. 結腸癌について正しいものはどれか

- (1) 潰瘍浸潤型が多い
- (2) 左側結腸癌はイレウスをきたしやすい
- (3) S 状結腸癌の頻度がもっとも多い
- (4) 血行性転移臓器は肝臓がもっとも多い
- (5) 結腸癌の再発形式は、肝転移より腹膜播種の方が多い

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

26. 胃癌の術後合併症について正しいものはどれか

- (a) 術後吻合不全を生じた場合、その後に吻合部狭窄となることがある
- (b) 噴門側胃切除術後の小腸間置再建術は摂取した食物の貯留能保持が主な目的である
- (c) 逆流性食道炎に対しては、逆流防止のための再手術が第一選択である
- (d) 早期ダンピングの症状は血糖値の急速な変動に起因するものが多い
- (e) 胃切除後には鉄欠乏性貧血は稀である

27. 胃癌に対する幽門側胃切除術で切断される血管はどれか

- (1) 胃十二指腸動脈
- (2) 左胃動脈
- (3) 右胃動脈

- (4) 右胃大網動脈
- (5) 右下横隔膜動脈

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

28. 腸管感染症について、正しいものはどれか

- (1) 免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある
- (2) 偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である
- (3) アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である
- (4) 回盲部の腸結核は稀である
- (5) 腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

29. A 型胃炎について、正しいものはどれか

- (1) 大球性貧血を合併することがある
- (2) カルチノイドが多発することがある
- (3) H.pylori 感染がある場合は発症しない
- (4) 主細胞が主に障害されて起こる
- (5) 病変は前庭部（antrum）中心の分布となる

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

30. 大腸疾患の分類法、病因、及び組織像について、正しいものはどれか

- (1) Duke's 分類は大腸癌の肉眼形態の分類である
- (2) 家族性大腸腺腫症は K-ras 遺伝子の germline mutation が原因とされる
- (3) クロウン病は乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫が特徴的である
- (4) 潰瘍性大腸炎の活動期には陰窩膿瘍が見られることが多い
- (5) Goligher 分類は痔核の病期分類である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

31. 胃、及び十二指腸疾患の病因、組織像について正しいものはどれか

- (1) Gastrointestinal stromal tumor（GIST）の約 90%は免疫染色で c-KIT 陽性である
- (2) Whipple 病はグルテンに対する免疫反応が原因とされる
- (3) 胃生検材で adenoma は Group4 に分類される
- (4) Borrmann 分類は癌の壁深達度、リンパ節転移で判定する
- (5) MALT リンパ腫は H.pylori 感染と関係がある

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

32. 胃癌に関連して正しい組み合わせはどれか

- (1) 大きさ 30mm のⅡc 未分化癌は ESD の適応である
- (2) 早期胃癌の 5 年生存率は 90%以上である
- (3) 胃癌の左鎖骨上窩リンパ節転移を Virchow 転移という

- (4) 大きさ 50mm のⅡc 高分化腺癌は ESD の適応である
- (5) 胃癌の卵巣転移を Schnitzler 転移という

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

33. 胃疾患に関する次の記述のうち正しい組み合わせはどれか

- (1) H.pylori 感染は胃癌発がんのリスクである
- (2) 手術不能な GIST の治療としてメシル酸イマチニブが有効である
- (3) 胃 MALT リンパ腫の治療として、H.pylori の除菌治療が有効である
- (4) 胃カルチノイドは A 型胃炎に伴うものが多く、治療は胃全摘術がすすめられる
- (5) 胃に発生する悪性リンパ腫の中で、頻度が高い組織型は MALT リンパ腫と濾胞性リンパ腫である

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

34. 蛋白漏出性胃腸症について正しいのはどれか

- (a) 血清中の IgG は増加する
- (b) ¹³¹I-アルブミンシンチグラフィは診断に有用である
- (c) α₁-アンチトリプシンクリアランスは低下する
- (d) 血清コレステロール値は高値になる
- (e) 主症状は便秘である

35. 食道疾患に関する次の記述のうち誤りを 2 つ選べ

- (1) 食道癌の危険因子として飲酒、喫煙があげられる
- (2) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
- (3) 食道アカラシアの診断には、食道内圧検査が有用である
- (4) 胸部中部食道 (Mt) は漿膜に覆われている
- (5) 特発性食道破裂は、食道上部に好発する

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

36. 大腸癌について誤ったものはどれか

- (1) 臨床病期Ⅳ期の 5 年生存率は胃癌より良好である
- (2) 低分化型腺癌が多い
- (3) 潰瘍浸潤型が多い
- (4) 早期癌ではリンパ節転移はない
- (5) 遠隔臓器への転移では肝転移が多い

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

37. Crohn 病について正しいのはどれか

- (1) 発病は 10、20 歳代に多い
- (2) 病変は連続性である場合が多い
- (3) 生検で乾酪性肉芽腫が認められる

- (4) 潰瘍性大腸炎と比べ手術を受ける患者の比率が高い
- (5) 腸管外合併症として関節炎を合併することがある

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

38. 消化管内視鏡検査に関して誤ったものを選べ

- (1) ルーチンの下部消化管内視鏡検査では終末回腸まで観察する
- (2) ルーチンの上部消化管内視鏡ではトライツ靱帯まで観察する
- (3) 下部消化管内視鏡検査は全身麻酔下に行われることが多い
- (4) 消化管粘膜の生検に際しては痛みがあるため鎮静剤の使用が必要である
- (5) 消化管出血の治療としてクリップ止血術がある

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

39. 次のうちで誤った組み合わせはどれか

- (1) AGML の原因としてアルコールや薬剤 (NSAIDs) が挙げられる
- (2) 十二指腸潰瘍の好発部位は十二指腸下行部である
- (3) 胃潰瘍の特徴的な内視鏡像として、集中壁の途絶、癒合、蚕食像が挙げられる
- (4) 壁細胞 (parietal cell) は塩酸および内因子を産生・分泌する
- (5) H.pylori 陽性の慢性萎縮性胃炎は胃癌の発生母地である

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

40. 次のうちで正しい組み合わせはどれか

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 機能性ディスペプシア | — Upstate Sydney System |
| (2) 先天性十二指腸閉鎖 | — “string sign” |
| (3) 胃過形成性ポリープの退縮 | — H.pylori 除菌療法 |
| (4) メネトリエ病 | — 低タンパク血症 |
| (5) ニッシェ (niche) | — 隆起性病変 |

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5